

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ひだまりっこ		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R7年1月31日		～ R7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・手厚い人員配置	・出勤、退勤時間が同じではないので共通ツールを使用し情報共有につとめている。 ・ミーティングや研修会を実施しチーム支援に取り組んでいる。	・ケーススタディやミーティングで現場スタッフ同士の連携を深めていく。そのために必要なアプリやツールを探っていく。
2	・5領域支援を網羅する豊富な活動内容	・集団の年間目標を定め個々の支援に取り入れている。 ・本人支援、家族支援、移行支援のバランスを考えている。	・保護者交流、きょうだい児交流については法人内の他の事業所とも連携し笑福祭やレクリエーション大会など多くの方がつながりあえる機会を充実していきたい。
3	・保護者、関係機関との連携体制	・個人面談の他参観日を月一回設定し、気軽に相談できるよう心掛けている。	・アンケートや気軽に連絡がとれるような手立てを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画、業務継続計画など全員に浸透しづらい。	・行政の報酬改定、様々な変更について細かく全員に理解してもらうことが難しい。	・勉強会や掲示物、研修会を実施していく。
2	・保護者の生活スタイルやニーズの変化。	・就労しているご家族でも利用しやすい事業所の運営。	・保育園送迎など出来る範囲で行っている。
3			